



## 中間発表で現在の實力確認

御前崎市文化会館で9月20日、伝統文化親子日本舞踊教室の中間発表会が開かれました。参加したのは小中学生と講師を合わせた9人。約40人の観客が訪れ、子どもたちの練習の成果を見守りました。

白羽小学校3年生の澤部華菜さん(薄原区)は「1月の発表会に向けて、もっとなめらかに踊れるよう練習したい」と意気込みを話しました。

◀7人が動きを合わせて踊った中間発表会



## パラ陸上山本篤さんが講義

浜岡北小学校で9月23日、東京パラリンピック陸上種目に出場が内定している山本篤さんを招いた学習会が開かれました。全校児童170人が山本さんの過去の体験に耳を傾けたり、軽やかに走る姿を見たりして障害者スポーツの意義を学びました。

山本さんは「メダルを取るために一生懸命頑張ることに意味がある」と児童に伝えました。

◀山本さんが自然に歩く様子を見つめる児童



## 老若男女が対話通じて交流

佐倉地区センターで9月27日、生涯学習講座「あなたから始まる楽しい対話」が開催され、35人が参加しました。同講座では、一般社団法人CLIPが講師を務め、参加者は、4・5人のグループで「御前崎市がこうなったらいいな」という意見を出し合いました。また、グループ内では、世代間交流をしながら、積極的に自分の意見を発表する様子が見受けられました。

◀1つのテーマのもと幅広い世代が交わった生涯学習講座



## いもじいさんをしのび法要

御前崎地方にサツマイモ栽培を広めた江戸中期の先人で、「いもじいさん」の愛称で親しまれた故大澤権右衛門の遺徳をしのぶ祥月忌法要が10月7日、海福寺で営まれました。

甘藷翁祥月忌実行委員会の委員長でもある柳澤市長は、「現在、本市では農業の担い手が不足している。これからも農業振興に努めていきたい」と話しました。

◀市の誇りである「いもじいさん」の遺徳をしのぶ参列者